

サーキュラーエコノミーの 最新動向×未来×実践事例



2024年12月17日（火）

— 13:30～17:00 —



参加方法：Zoomウェビナー／ 申込方法：QRコードより申込

参加無料
定員500名

地球規模の課題である気候変動対策としてカーボンニュートラル社会への移行が求められる中、軽くて強いという特性を持つCNFは、CO₂排出削減への効果に期待が寄せられてきました。一方、近年ではサーキュラーエコノミーという新たなビジネスモデルが注目されています。あらゆる段階で資源の効率的・循環的な利用を図りつつ、付加価値の最大化を目指すこの社会経済システムの実現に関しても、CNFは大きな可能性を秘めています。

本セミナーでは、サーキュラーエコノミーおよびセルロース/CNF材料の最新動向を踏まえた上でその活用事例をご紹介します。カーボンニュートラルとサーキュラーエコノミーを同時に実現するCNFの現在と未来を、実践者の方と共にディスカッションいたします。



二酸化炭素 CNFでCO₂排出量を削減し地球温暖化対策を推進

原料調達

CNFの原料は、国内に豊富にある
カーボンニュートラルな森林や植物バイオマス

*植物は空気中のCO₂を吸収してセルロースを作り出すため、
植物材料は地球上のCO₂を増加させない

リサイクル

リサイクル性が高く、新しい循環型材料として期待



家電
(掃除機など)



自動車
(内装材や外板など)



住宅・建材
(窓枠・断熱材など)



製造

軽量、高強度、低熱膨張などCNFの特性を生かし、
様々な製品を製造



利用

- CO₂排出量の少ないCNF製品を多く利用するほど、日本のCO₂排出量削減に貢献
- CNF製品による自動車部品などの軽量化により、化石燃料使用量の削減
- CNF製品による住宅建材の断熱効果向上により、冷暖房利用時のCO₂排出量の削減

プログラム（予定）

— 特別講演 —

環境省

河田 陽平 氏

環境再生・資源循環局 総務課
資源循環ビジネス推進室 室長

循環経済への移行とセルロース/CNFへの期待

— 講演 —

京都大学

矢野 浩之 氏

生存圏研究所 特任教授

セルロース/CNFによる
カーボンネガティブへの挑戦

— 事例紹介 —

富士市役所

平野 貴章 氏

産業交流部 産業政策課
CNF・産業戦略担当 主幹

CNF材料の実用化支援
地域サーキュラーエコノミーへの取り組み

パナソニック
ホールディングス株式会社

浜辺 理史 氏

マニュファクチャリングイノベーション本部 シニアエンジニア

パナソニックが進める
家電へのセルロース繊維強化材料の実装（仮）

大王製紙株式会社

大川 淳也 氏

生産本部
新素材事業推進室 部長

大王製紙が進める
CNF材料の開発・製造・実用化

地方独立行政法人
京都市産業技術研究所

野口 広貴 氏

材料・素材技術グループ

カーボンニュートラル社会の実現に向けた
CNF強化バイオPEの開発

— パネル討論会 —

モデレーター： 矢野 浩之 氏

パネリスト： 大川 淳也 氏・野口 広貴 氏

浜辺 理史 氏・平野 貴章 氏（五十音順）